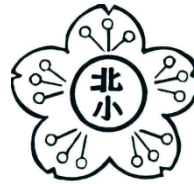


北小物語2018

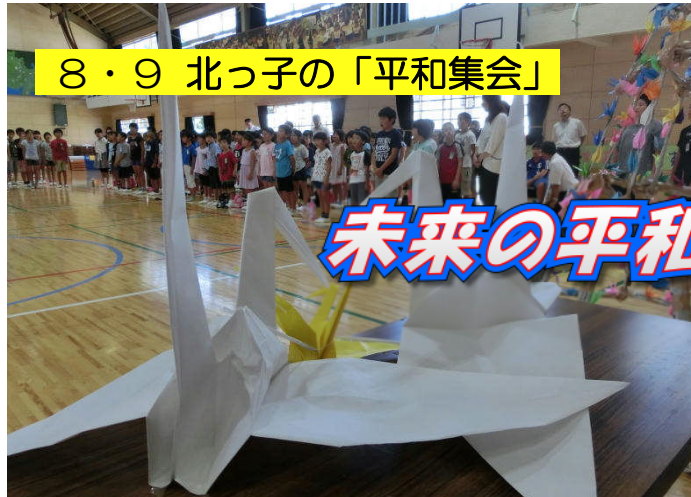


平成30年 8月21日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (37)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 「いっしょ」「いっしょ」「いっしょ」 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第37話：「未来の平和を私たちの手で～北っ子の『平和集会』！～」の巻 ☆☆☆



8・9 北っ子の「平和集会」

未来の平和を私たちの手で！



「73年前の朝もたいへん暑かったことでしょう・・・」。担当の三好先生の言葉が体育館中に響きました。会場中央には、手折りの白い鶴が飾られ、無言で北っ子たちを見つめています。集会委員会5年：戎湯凌也くんのはじめのことばで『北っ子の平和集会』が幕を開けました。職員も子どもも、かつての戦争の時代を知りません。広島・長崎に投下された原子爆弾の惨状も写真やスライドでは知っているものの正直、自分たちには関わりのないものという認識がありました。日常の平和は当たり前のことと・・・。

しかし、今日の『平和集会』は、そのような認識を変えてくれるものとなりました。集会の前に各学級で取り組んだ「平和学習」についての悲劇を子どもたち一人一人がしっかりと分たちが何をすべきか、力強く語り合う自分たちにできること・・・それは「身顔のあいさつを広げていくこと」。小さな積み重ねが、世界の平和を築く力になる



集会の中で、お披露目された千羽鶴は、った「平和への願い」のシンボルです。旅行で、みなさんの思いを平和公園に届

集会の途中に長崎原爆投下の時刻11時に犠牲になられた方々に対して、全校ましながら、職員・子ども一人一人が心の中で「永遠の平和」を誓いました。この誓いをさらに強くしたのは、集会の最後に全校で歌った「♪この時代に♪」です。本学校便り32号で、その歌詞や内容についてお知らせをしましたが、この歌は、「・・・この時代に、ぼくは何をしよう（どう生きよう）」と自問する形で終わります。その自問に対して答えを出していくのが、私たちに託された今後の課題です。

集会委員会6年：塩谷力くんのおわりのことばで、幕を閉じた『北っ子の平和集会』。その集会をずっと見守り続けた白い鶴が、体育館を吹き抜ける風を受けて、羽を動かし、今にも飛び立ちそうな瞬間を目にした私です。未来の平和を築くのは、まぎれもなく目の前の子どもたちです。73年前と同じように太陽が照りつける8月9日の朝、北っ子の心の中に一筋の光が差し込む『平和集会』となりました。



事故から子どもを守る「白線」

8月9日の登校日、『平和集会』を終えて、真っ黒く日焼けした子どもたちが、学校を後にしました。校内通学路には、これまで見かけなかった「白線」が・・・これは、7月25日に市の学校環境整備員さんたちが、子どもたちの安全を守るために引いてくださったものです。

